



町長日誌

No.254

町長日誌の第254号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

12月9日（月曜日）AM9:30

6～7日にかけて根雪になりそうな雪が降りすっかり銀世界になりました。寒さも1月並みということで、道路はつつる路面ですから、車も歩行者も要注意です。さて、今週は定例議会が12～13日に予定されていて、その準備に追われています。懸案であった認定こども園整備事業費を予算として提案します。予定より2年遅らせ、設計の見直しを行い資金の調達を行い事業がスタートします。実際の工事開始は雪解け後となる予定です。昨日、親しくしている本州の首長さんから手紙が届きました。内容は役場として出していた年賀状の廃止についてでした。本町は役場としての賀状は随分前から廃止していますが、未だ多くの役所では町長名や議長名での年賀状が出されています。昨今では年賀状廃止の挨拶状が多くなりましたが、今回の手紙には「事務の簡素化ならびに環境負荷低減の取り組みの一環として」と書かれてありました。年賀状を出さないことが果たして環境負荷低減につながるのか否か？ 私には解りませんが、この町もゼロカーボンに取り組む町なのでこのような事になったのだと思います。

11月21日（木曜日）

北興地区にあるバイオガスプラントはFIT（固定価格買取）制度により38円/1kwで20年間北電に売電しています。このFIT制度は皆さんの電気料金に少し賦課させていただき財源としています。しかし、経済産業省からはソーラー発電に比べてバイオマス発電は費用が掛かりすぎるとして将来FIT制度から国民負担の無いFIP（市場原理を導入して価格の高い時に売る）制度に2026年の新規参入から変更する案が示されたことから、私が会長をしていますバイオマス産業都市推進協議会は武部代議士にご同行いただきFIPに対応できる地域の送電網などの整備が遅れていることなどを理由に拙速に変更しないよう要望しました。結論は来年1月に出る予定です。

11月28日（木曜日）

臨時議会を開きました。議案は「燃油価格高騰生活支援事業」として65歳以上の単独世帯と高校生までの子育て世帯に商品券1万円を支援することが決定しました。対象世帯には直接郵送しますので、少しでも暖かくしてお正月をお迎えください。

この日誌が読まれている頃は皆様お揃いで新年をお迎えのことと思います。今年も一年間お世話になりました。令和7年巳年が素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶は広報紙「年頭のご挨拶」に代えさせていただきます。どうか良いお年を！では、また来年。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

